

令和7年度 第2回南部町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 令和7年12月5日(金) 午前10時00分 開会
午後12時00分 閉会
- 2 開催場所 南部町役場本庁舎 2階 大会議室
- 3 出席者
 - ・町長 佐野 和広 ・教育長 市川 隆
 - ・教育委員 渡邊 正志職務代理者 ・教育委員 望月 正宏 ・教育委員 山本 純司
 - ・教育委員 望月 聡美
- 4 事務局等の出席者
 - ・総務課長 遠藤 一明
 - 教育委員会事務局 ・学校教育課長 若林 将基 ・生涯学習課長 遠藤 賢
 - ・学校教育課主幹 稲葉 啓介
- 5 協議事項
 - (1) 南部地区小学校の統合について
 - (2) 中学校部活動の地域展開について
 - (3) その他
- 6 議事経過の概要
次のとおり

1 開 会 (渡邊 正志職務代理者)

皆さんこんにちは。本日の主な議題は、南部地区小学校の統合と中学校部活動の地域展開についてです。来年度開校する南部小学校については、最終段階に入っていると思いますが大変嬉しいことです。中学校部活動の地域展開については以前から文科省の主導で話が出ていますが、教職員不足や子供達の人口、また予算の確保など様々な問題で前進していない状態です。南部町でも11月に協議会が発足しましたが、これからその問題を克服していかなければならないと思います。本日は忌憚のない意見をいただき、有意義な総合教育会議にしたいと思います。宜しくお願いします。

2 町長あいさつ

皆さんこんにちは。朝方は非常に寒く、いよいよ冬将軍が訪れる時期となりました。本日も皆さんにご意見をいただき、良い意見は学校教育の中に取り入れていくようにしたいと思います。やるべきことは沢山あるので、今まで以上に力を入れてやっていきたいと思えます。インフルエンザも増えているので、皆さん体調にはくれぐれも気を付けていただきたいと思います。

です。本日は宜しく申し上げます。

3 教育長あいさつ

皆さんこんにちは。本日は師走のご多忙の中、ご出席いただきありがとうございます。12月7日は二十四節気の一つである大雪です。ブリなどの冬魚の漁が盛んになり、熊が冬眠に入り、南天の実が赤く色づく頃とされています。今年は災害級と言われる程、国内で熊による被害が多発しました。本町でも目撃情報が多数寄せられ、子供達の登下校に影響がでました。幸いこれまで人的被害はありませんが、今後も社会問題となりそうです。今年度第2回目となる総合教育会議ですが、今日は南部地区小学校の統合について、中学校部活動の地域展開についてが主要課題となります。睦合小学校と栄小学校の統合は、南部町立小中学校適正配置事業の最終章となります。統合に向けたソフト・ハード両事業の進捗と内容について共有を図っていただきたいと思います。それから中学校部活動の地域展開は、現在その取り組みが動き始めたところです。検討を要する事項、課題は数多くあると認識しています。未来を担う子供達にとって南部町の最適解は何か、皆様からご意見を伺いたいと思います。限られた時間ですが、有意義な意見交換ができますようご協力ください。どうぞ宜しくお願い致します。

4 議事

(1) 南部地区小学校の統合について

【南部地区小学校の統合については、若林学校教育課長より説明がありました。】

(市川教育長) 第1回総合教育会議に比べてさらに深く検討が進められ、順調に捗っていると感じます。皆さんからのご質問・ご意見、また感想でも結構ですので伺いたいと思います。

(町長) 工事も順調に進んでいますし、通学支援の方も大丈夫だと思います。一点気になるのは、小学校の指定体育着です。子供達は新しい物を欲しがります。今は物価高ですし、各家庭の状況もあるので、今一度従来の物で十分ですということを伝えてあげれば、親御さん達も安心すると思います。

(望月 正宏委員) それに関連して体育着のことですが、万沢小と富河小が統合した時に、両学校の体育着を着ている子供がいました。全く違和感が無かったので、そういう着方もあることを親御さん達に伝えてあげても良いかもしれません。

(市川教育長) ありがとうございます。保護者の立場からいかがでしょうか。

(望月 (聡) 委員) 校舎が綺麗になったので、子供達は喜ぶだろうなと思いました。私が心配していることは、バス通学の乗降についてです。南部北1班は、南部商店街通りで10人が乗降することになっています。朝の南部商店街は、通学の子供達や通勤の車も多く危険なので、子供達自身が安全に待機するという指導を保護者はもちろん、学校でも行う必要

があると感じました。また、車に乗る方達がスクールバス乗降場所だと分かるような看板もあれば良いと思います。ただ、バス通学になり歩かなくなることで、子供達の体力が低下しないか心配なので、学校でも体力づくりなどを行ったほうが良いと思います。

(市川教育長) ありがとうございます。バス通学による安全確保について、事務局から何かありますか。

(若林学校教育課長) 南部商店街での乗降は、広い場所を考えています。どういう待機方法をとるのか、また子供達が家からどういうルートで待機場所へ来るのかは再度確認が必要なので、学校や保護者の意見・協力を得ながら決定していきたいと思います。また、毎年通学路安全点検を行っていて、その時は教育関係者だけでなく道路管理者も来ます。そこで県や国も必要に応じて改修をしてくれますので、毎年見直しをしていきたいと思っています。

(市川教育長) バス通学による、子供達の体力低下についてはどうでしょうか。

(若林学校教育課長) 身体的な体力低下だけでなく、風邪を引かないなどの自己防衛力の低下も良くないので、学校の中でそれらを補うような体力づくりをやってもらうという話をしていきたいと考えています。

(市川教育長) 他にいかがでしょうか。

(山本委員) 校舎改修、外構工事も順調に進み、綺麗な明るい校舎で一日を始められるというのは、子供達にとっても良い印象になります。南部小の学校教育目標である『花と泥と太陽の子の育成』～未来に向かって生きる南部の子～は、印象的で覚えやすく良いと思います。花・泥・太陽というのは非常に象徴的な教育を示していて、例えば『花』は幸福感を感じる、『泥』は五感が発達するという象徴、また『太陽』は光を浴びて元気になる象徴だと言われています。教職員・保護者・地域の方達で子供達に繰り返し教育活動を行い、それが南部中学校の『気づき・考え・行動・そして感動』に繋がっていくという様に、教育の連動性・継続性を意識しながら、諸活動の中で浸透していく取り組みをしてもらいたいと思います。

(市川教育長) ありがとうございます。教育目標については、丁寧に説明をしながら皆さんに理解をしていただけたらと思います。

(渡邊(正)委員) 四月の開校に向けて希望が持てます。私は栄小の運営委員なので運動会や発表会を見学しましたが、職員も子供達も最後の行事ということで、栄小の良い部分を存分に出して取り組んでいました。来年度は南部小学校で栄小の良い所を出しながら、睦合小の友達と交流しようという意欲が感じられ、とても良い雰囲気だと思いました。統合して子供の人数も増えますが、学童保育の受け入れ態勢は整っているのですか。

(若林学校教育課長) 学童保育は子育て支援課が担当していますが、現在栄小学校で7名が登録しています。アルファーセンターが学童施設となっていて、実質利用しているのは3、4人だと聞いています。子育て支援課では、睦合小学校側に学童施設を一か所置くという方針で進めています。栄小の子供達が受け入れられるかは、まだ使用していない部屋もあ

るようなので十分対応できるということです。子育て支援課では利用者の意見も聞きながら、丁寧に説明をしていくということです。

(市川教育長) 総務課長、何かありますか。

(遠藤総務課長) 先生方の意見を聞けましたので、私の方からは特にありません。

(市川教育長) 町長、何かありますでしょうか。

(町長) 南部小学校・富沢小学校両校の子供達には大いに頑張ってもらって、いつか南部教育とはこういうものだという象徴的な事を、教育委員会主体で良いのでやってみたいと思っています。また文化講演会についても考えていて、学校の方にも教育者を呼んで子供達に話をしてもらおうなど、南部町の文化と教育のために色々と進めていきたいと思っています。

(市川教育長) ありがとうございます。そういったことについて教育委員の皆様にもご意見をいただければと思います。小学校の統合について他にいかがでしょうか。よろしければ、次の議題に入りたいと思います。

(2) 中学校部活動の地域展開について

【学校教育課主幹稲葉より、中学校部活動の地域展開について説明がありました。】

(市川教育長) ありがとうございます。令和8年度中に、1つの部活動を地域展開することを国や県が提案しています。これは今の部活動の形をそのまま地域展開に移行するというイメージでしょうか。テニス部で言えば、週末に地域展開をして行くということなのか、全く違うことを地域クラブとしてやるのか、また違った種目を立てるという取り組みなのでしょうか。

(学校教育課主幹 稲葉) 例えば、今南部中学校にない種目の地域クラブを作り、そこに野球をやっている子が、休日は陸上の地域クラブの方で活動するという考え方もできます。

(市川教育長) そうなると、週末の展開が多様化していくことになりそうですね。国と県の支援体制は具体的に示されていますか。

(学校教育課主幹 稲葉) 指導者の確保が大きな課題となっている市町村が多いです。そういったサポートは県の方で行い、運営・整備をする為の費用面で施設が無い所など、整備が必要な場合は補助の対象になります。

(市川教育長) すでに次年度の予算編成作業が始まっています。公的な支援に対する支出というのを具体的に積算しなければいけないのですが、そこでの国や県の関わりは詳細に示されているのですか。そういった現状を踏まえた上で、皆さんからご意見・ご質問などありましたらお願いします。

(望月(正)委員) 南部中学校の中で、ソフトテニス部が地域展開をしていくということでしょうか。また、指導者や予算も確保できているのでしょうか。

(学校教育課主幹 稲葉) はい、そういうことです。これから学校との調整をしていくことになります。今いる外部指導者の方にもこれから確認をとらなければいけないので、そうい

った指導者の確認や確保もしながら進めていきたいと思ひます。

(望月(正)委員) 主に土日に展開することになると思ひますが、南部中では今までの部活動と地域展開する為のクラブ活動が、並行して行われていくと考へれば良いのでしょうか。

(学校教育課主幹 稲葉) その方が子供達も問題なく進むのではないかと思ひますが、まだそこまで進展していません。

(望月(正)委員) 小中体連主催の大会や専門部の大会がありますが、ソフトテニスの場合指導者が新たに見つかれば、その方が引率して子供達を連れて行くことになるのか。また参加については指導者に任せて、その指導者が県の方に申し込みをするという考へでよいのか。

(学校教育課主幹 稲葉) 部活指導員の方がいれば、そのまま継続的に引率や申込みも含めてやっていただくことは可能です。ただ、外部指導者だけでそこまでのフォローをするのは難しいため、休日の大会などに関しては部活動として出場するなどの形で考へています。

(山本委員) 令和8年度中に1つの部活動を休日に地域移行し、休日の指導者については教員達で兼業するのではなく、外部指導者か部活動指導員が指導をする。部活動指導員の場合は県に人材バンクがありますが、実際南部町への人材がいるのか確認できているのでしょうか。

(学校教育課主幹 稲葉) 前回の調査で南部地区対象の指導者希望の方はいましたが、所属が今の部活動と一致していませんでした。

(山本委員) 部活動移行から地域展開になると、南部町内の人材や連携策も考へていかなければならないと思ひます。例えば、野球をやっている子がもっと野球をやりたいのか、テニスや絵を描きたいという子もいるかもしれない。子供達自身も多様化しているので、子供が何を望んでいるのか、実態調査をしっかり行った方が良いと思ひます。また、それに対応できる南部町内の人材とはどういった方なのかを考へていく必要があると思ひます。

(市川教育長) ありがとうございます。保護者目線はどうでしょうか。

(望月(聡)委員) 土日の部活動が地域クラブに移行し、指導者が変わると解釈していましたが、今の話だと土日は自分の好きなクラブに入れるということで良いのですか。子供達はどう思ふのかと心配になりました。息子がテニス部で、火曜日・木曜日 19:00~21:00に夜練習をしています。子供達のことを良く知っている方が指導してくださるのはありがたいですし、親としてはそういった方に指導をして欲しいという希望はあります。また今後地域クラブになった際、費用がかかる事もあると思ひますが、それが高くなると負担になるご家庭もあるかもしれないので、そういうことに対する補助金があれば良いなと感じました。

(若林学校教育課長) 地域スポーツクラブが、地域移行に関する卵だと考へています。休日部活動は、その方達が主体となりやっていきます。地域に根差した方なので、子供達が継続して活動を続けられます。学校の先生方が指導者として活動しないので、働き方改革に繋がるということです。また基本的に学校管理下の部活動であれば、体育館を使用してもお

金はかかりません。ただ一旦部活動を離れると、今度は任意団体になります。スポーツ少年団の配置下なのか、体育協会の配置下なのかで減免されたりという制度があります。部活動から地域クラブに変わる段階の何年かは、町の方で補助をしていく必要があると思います。

(望月(正)委員) 地域の方が指導してくれるということですが、これが地域スポーツクラブの目的である継続ということですね。ただ、子供達の普段の生活の中で夜の活動が増えたりエスカレートすると、どうなのかと心配になります。

(若林学校教育課長) そこは今個人の活動という感覚ですが、練習をやりたい子は活動に行き、他に習い事がある子や勉強をしたい子は活動に行かなくなる。そこでなぜ活動に来ないのか、という風になってしまうと非常に良くないですし、悪影響になってしまうという懸念はあります。

(山本委員) 私が南部中学校の校長時代に経験したことですが、野球部で夜練習をしたいので先生に参加の了解を取ってほしいと保護者から依頼がありました。夜の活動で時間外勤務になるため、部活動としては認められないという話をしましたが、保護者会で希望者を募り、部活動ではなく自主練習としてやるのであれば可能という判断になりました。ただし、子供が過度な練習量になっていないか、子供達同士で練習の参加頻度についてトラブルになっていないか気を付けなければならない、また最終的な責任は保護者になりますという話をしました。先程テニス部の夜練習の話がありましたが、保護者会としてやっているのか、先生達が善意でやっているのか、練習時に何かあった場合責任はどうなるのか、怪我の対応はどのようにするのかなどを考えると、善意で練習に参加してくれるのは良いのですが、組織やルールをしっかりと作ってやらないと後々トラブルになりかねないと思います。そこは体制を整えないといけない大事な部分になります。クラブ活動になれば、町の減免措置で施設を使うこともできますが、個人でやっていく場合には色々なサポートができないので、難しいのではないかと感じます。

(望月(聡)委員) 事前にお知らせも無く夜の練習が始まったので、少し驚きました。我が家は学校が近いので対応できますが、富沢など離れた所から来る方は、お母さん達が忙しい時間帯なので大変だと思います。まだ週2日の夜練習なら対応はできますが、回数が増えたりすると日常生活に支障がでないか心配です。

(渡邊(正)委員) 少し分かりにくいですが、とりあえず来年度1つの部活動は地域移行できるということ、基本的には働き方改革で職員の負担を減らすという目的、もう1つは子供達の活動を確保するということですね。すると真つ当な部活動というのは平日だけなのか、土日の活動は子供達が選択できるのか、土日の地域展開態勢を整えていく時に、指導をしたい先生はやってよいのか、その辺はどうなのかと思いました。

(望月(正)委員) 現在土日を主な地域展開としています。例えば平日指導できる方がいれば、平日の地域展開も可能なのか。平日の顧問と土日やる指導者がしっかりと連携し、一貫した指導をしていく必要があると思います。要は地域展開できる所はやっていい、でき

ない所は無理なのでやらなくていいという感じなのか、将来的にしっかりと地域展開をしていこうと本気で思っているのかが気になります。

(学校教育課主幹 稲葉) 現在平日に指導できる方がいない状況なので、もしそういう指導者が見つければ、平日の部活動も完全に地域クラブへ移行していけると思います。県の方でも地域の実情に応じてとなっているので、実際難しい部活動はあります。

(山本委員) 学習指導要領の改訂で部活動についての文言がどう変わっていくのか気になります。法的根拠としては、子供達が希望する自主的な参加で部活動は成り立っています。南部中学校の考え方としては、一応全員部活動に入るとしていますが、法律的に絶対に入らなければいけないということではないので、その表現がどの様になるのか。

(市川教育長) ありがとうございます。町長どうでしょうか。

(町長) 部活動を地域移行するということは、要は多くの子供達が活動に行きさえすれば、様々な事が解決すると思います。例えば松野にある体育館は、平日の夜でも多くの人達が使用しています。そういった活動を、どの様にやっているのか調査しても良いと思います。令和14年に国体にかわる『国スポ』が山梨県で開催されます。南部町でトランポリンの大会をやりたいという申し出があり、3日間で費用が相当かかります。町の負担はその半分ですが、はたして南部町にトランポリンをやる人がどれだけいるのか、それが地域の活性化やスポーツの振興にどれだけ寄与するのか疑問に思います。

(遠藤生涯学習課長) 12月8日に県の方が、受け入れが出来る体育館かどうか会場視察に見えられます。体育館の中で競技役員も含め観客を入れた場合、どの程度の数が入るのか、南部町民が観戦に来て『トランポリンはいいね』という人達が増えるのか、どのような形で観客を入れるのかなどを含め会場を見に来られます。

(山本委員) 先々の継続性が非常に難しいのではないかと思います。まさに国が提案している部活動の地域展開も、現実を無視して構想が薄い状態のまま県や市町村などに降りてきているので、上手く進まないのではないかと感じます。

(市川教育長) 今後、第2回運営協議会を開催予定ということで、南部町での進め方を事務局の方でまとめておく必要があります。回を重ねるごとに課題、留意点が明確になってくると思うので、今いただいたご意見を参考にしながら、事務局には素案づくりに取り組んでいただきたいと思います。今は学校教育課が資料を作成し説明しましたが、これは令和8年度以降もそういう形でいくのでしょうか。

(学校教育課主幹 稲葉) アルカディアスポーツセンターが運営団体として適しているということで、主に生涯学習課の方で活動していただければと考えています。そこにする理由は運動場・野球場・テニスコートなど施設があるので、運営団体の主体となり発進していけば、様々な活動や保護者との連携もスムーズになります。また、学校教育課も含めて学校側との連携もしやすくなるのではないかと考えています。

(市川教育長) 学校教育課と生涯学習課が連携していくということですね。

(遠藤生涯学習課長) 主に生涯学習課となりますが、スポーツセンターがあるのでそこを拠点

とし、地域展開をしていくと考えています。学校との調整もあるので、学校教育課にも協力をしていただきながら、スムーズな展開が図れればと思います。

(市川教育長) ありがとうございます。それでは(3) その他に入りたいと思います。

(3) その他

(市川教育長) 皆さまから何かありますでしょうか。

(町長) 今南部町の職員構成ですが、現状人が足りなくて困っています。なので、今いる職員にはある程度自分の仕事をやりながら、他との関りを持ってもらう様にしなければ、この町が回っていかなくなります。それだけに職員の皆さんには頑張ってもらいたいのですが、一応現状を頭の中に入れていただきたいと思います。地域移行の問題は、またそこに労力がかかるので大変だと思いますが、宜しくお願いします。

(市川教育長) 委員の皆様、他によろしいでしょうか。それでは、議事を終了したいと思います。ありがとうございます。

5 閉会

(望月(正)委員) 長時間に渡りありがとうございました。今日は2つの議題がありました。南部小の校舎改修については1工区・2工区に分かれていて、しかも有人工事という難しい状況の中でも計画的に進んでいます。保護者や地域の方が期待する中、子供達が希望をもって開校できるという事に、非常に感謝を申し上げたいと思います。また予算面でも、精神面でも応援していただいた町長さんを始め、町の方々にも感謝したいと思います。部活動の地域展開は難しい問題ですが、その町によって限度があるので色々な事を考慮しながら、その町で精一杯できる事をやっていけば良いと思います。色々と苦勞されていると思いますが、これからも子供達のために宜しくお願いします。以上で第2回南部町総合教育会議を閉会します。ありがとうございました。

以上